

事務事業名	市政ニュース放送委託事業			担当	総務部 秘書課 広報広聴係			
政策名	F	市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり			電話番号	83-8100		
施策名	3	開かれた市政の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成13 年度～）			
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費		3. 広報費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	<p>市発行のウィークリーニュースの内容を、広くお知らせするための手段の一つとして、ケーブルテレビを使った文字放送を委託している。 平成23年10月からは、行政情報番組の試行放送として、ようこそ市長室、ウィークリーニュース、広報もおか、市役所情報局、文字情報を制作し、1時間番組として市民に対して情報の提供を行なっている。 平成24年度からは、行政情報番組の本格放送として、上記に加え市内立地企業の紹介や課の業務案内などの企画番組を加え取り組んでいる。</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 行政情報の提供として、ようこそ市長室へ、ウィークリーニュース、広報もおか、市役所情報局、もおかインフォ、メイドインもおかなどの番組を制作し、1時間番組として放送を実施した。 25年度計画 平成24年度実績に加え、5分程度の市政ニュース番組を自主制作し、番組内容の充実を図る。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	ケーブルテレビで放送する情報数	本	60	60	326	869	1,100
	イ	放送時間	時間	2,737	2,737	2,025	2,145	2,145
	ウ エ オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民、事業所	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	ケーブルテレビ加入世帯数	世帯	2,483	2,475	2,467	2,780	2,892
	イ ウ エ オ							
	③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ケーブルテレビを見た市民に市の情報を知ってもらおう。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
ア		真岡ケーブルテレビを見た市民の数	人	7,201	7,178	7,154	8,062	8,387
イ ウ エ オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 市民参加による開かれた市政の推進		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	真岡市の良さを認識している市民の割合	%	71				
	イ		%		71	71	71	71
	ウ エ オ							

(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	945	945	4,278	9,494	
	事業費計(A)	千円	945	945	4,278	9,494	
	人件費	正規職員従事人数	人	0	0	2	3
		延べ業務時間	時間	0	0	924	3,600
		人件費計(B)	千円	0	0	3,920	15,127
トータルコスト(A)+(B)		千円	945	945	8,198	24,621	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	より多くの方法で市の情報を市民に知らせるため、平成13年度から真岡ケーブルテレビに放送を委託した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	開始当時は、市からのお知らせの中から特に重要な情報をアナウンサーが放送していたが、情報量が増えたため、平成15年度から文字放送に切り替え、すべての情報を流すようになった。放送委託した当時は、加入世帯・事業所が1600件ほどであったが、エリアの拡大などにより現在は約2500件に増えた。平成23年度に市内全域にケーブルテレビのエリアが拡大したため、より有効な行政情報の提供が可能となったことから、自主制作や委託制作により行政情報番組を制作し内容の充実を図っている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 積極的な情報公開を行うために、より多くの方法で情報の提供を行っている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある より多くの方法で市民に情報を提供している。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある より多くの市民が市の情報を知ることができている。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 市の情報を市民に伝える方法が減る。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない 市政ニュースの放送委託は、地域に密着した真岡ケーブルテレビを利用している。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は放送にかかる必要経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 人件費はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							